

**爽やかな晴天のもと
獅子地区田舎体験**

今年で10年目となる、獅子地区田舎体験が開催されました。

島根大学の学生と獅子地区の住民が、田植えや稲刈りなどを通して交流する事業。今年度も学生約15名が田植えに汗を流しました。

手植えや田植え機で、苗の植え付けを体験。田んぼに入るのが初めてという学生もあり、慣れない作業に悪戦苦闘していました。

10月には同地区での稲刈りも計画。学生たちは自分たちが植えた稲が実る時期を、今から心待ちにしています。



住民に教わりながら、丁寧に作業を進めます

5.3
土

**春の味覚「山菜天ぷら」も登場
自然と遊ぶう！春の植物観察**

谷公民館主催の「自然と遊ぶう！春の植物観察＋α」が開催され、親子連れで賑わいました。

荻野英明さん（井戸谷）のガイドで、谷笑楽校から谷八幡宮までの道のりを散策。名前の由来、希少性など、身近な植物の知識を学びました。

参加した子どもたちは、教えてもらった植物を見つけようと、足元を注意深く観察しながら歩いていました。

散策後は、かつて猟師が山中で食べていた食事を再現。竹に生地を巻き付け炭火で炙ったパンを、参加者みんなで味わいました。



荻野さんの豊富な知識に聞き入る参加者

4.20
日



スパイシーなスープの香りが漂います

**料理を通して国際交流
ミャンマー料理教室**

町内の介護施設に勤務するミャンマー出身の方を講師に、「ミャンマー料理教室」が開催されました。

料理を通して交流を深めるとともに、ミャンマーの食文化を学ぼうと、頼原公民館が企画。ミャンマーの国民食である麺料理「モヒンガー」を作りました。

初めてミャンマー料理を食べるといふ参加者もあり、調理過程にも興味津々。ミャンマーと日本の食文化の違いなどを話しながら料理をしました。

参加者からは「他のミャンマー料理も教えてほしい」と次回開催を望む声も聞かれました。



すっかり打ち解け、会話が盛り上がります

5.10
土



ミャンマー出身者6名が参加。みなさん日本語が堪能です

**和やかに交流
入居者歓迎会**

（有）志都の里が主催する毎年恒例の「志津見地区入居者歓迎会」が開催されました。

滞在型市民農園のクラインガルテンは、都市農村交流を目的に平成15年にオープンし、今年で23年目。クラインガルテンと志津見団地に、新たに4組の入居者を迎えました。

歓迎会では、地域住民だけでなく国や島根県、本町の職員も参加。地元住民の作った料理を食べて、安来節で盛り上がり、親睦を深める会となりました。



最後には大きな笑顔で締めくくり

4.19
土

**匠の技が一堂に
全国のしめ縄・しめ飾り展**

大しめ縄創作館では「全国のしめ縄・しめ飾り展」が開催されています。

北は東北から南は九州まで、全国各地で制作されたしめ縄・しめ飾り約70点を展示。各地の伝統的なしめ飾りや、現代的な創作しめ飾りを見ることが出来ます。

県外からの来場者は「出雲大社に参拝した後に訪問した。しめ飾りにこれだけ多様な造形があることに驚いた。しめ縄文化の奥深さを感じた」と話していました。

各地の風土や、作り手の願いが表現されている作品を鑑賞できる貴重な機会。展示は11月頃まで予定されています。



「大しめ縄の制作過程も知れ、充実した展示」と来館者

3月
11月

**本町で初めての島根県の予選会開催
全国健康福祉祭ソフトボール大会**

第37回全国健康福祉祭ソフトボール大会島根県予選会が、頼原町民野球場で開催されました。

予選会には、大田市や松江市などから6チームが参加。飯南町ソフトボール協会の大谷哲也会長が「本町で大会が行われることは喜ばしい。元気はつらつとプレーしてください」と挨拶すると、各チームは全国大会に向けて優勝を目指しました。

島根かみあり国スポ全スポ2030では、本町がソフトボール会場となる予定。現在、審判員の育成やチームの新設など、盛り上がりをみせています。



仲間を鼓舞する大きな掛け声も聞こえました

4.19
土
4.20
日

**まちあるきで健康づくり
春のウォーキング大会**

頼原公民館、花栗地区老人クラブ共催の「春のウォーキング大会」が開催されました。

毎年地区（ルート）を変えて実施している企画で、今年は福岡美登さん（花栗）のガイドのもと、花栗地区を散策しました。史跡などを記した、地元住民が手作りの地図を手に、約2キロメートルの道のりを散策。かつての街道の名残や、昔からの伝承などの解説に耳を傾けました。

参加者からは「住んでいても初めて知ることがあった」「毎日のウォーキングコースにしたい」という感想が聞かれました。



お地蔵様が7体祀られている「六地藏」の前で

4.19
土